

北日本新聞 平成25年7月23日付

■川遊びで片貝の自然満喫 魚津市片貝小学校（同市島尻、山田美穂子校長）は22日、同校そばを流れる片貝川で「川遊び集会」を開き、児童らがペットボトルで作ったいかだに乗るなどして楽しい時間を過ごした。写真。

子どもたちに地元の豊かな自然を満喫してもらおうと、毎年行っている。いかだは、同校の縦割り



班6グループごとに2人入りのペットボトルを90〜100本集め、ガムテープで固定するなどして事前に製作した。

この日は全校児童57人と、同校に隣接する片貝保育園の年長児6人が参加し、園児が各班に1人ずつ加わった。子どもたちは準備体操をした後に水着姿で川に入り、いかだに乗って川下りを楽しんだり、水を掛け合ったりして歓声を上げていた。最後に班ごとに記念撮影した。

富山新聞 平成25年7月23日付

特製いかだで遊ぶ

魚津・片貝小

魚津市片貝小の「川遊び集会」が22日、校舎そばの片貝川で行われ、児童57人と片貝保育園の年長児6人がペットボトル製のいかだ乗りや、水遊びに歓声を上げた。

いかだは1基当たりペットボトル90〜100個で作られた。水着姿の児童たちが園児と一緒に乗り、川下りを繰り返した。水量も適度であり、山田美穂子校長ら教師も一緒に泳ぎ、郷土の自然の大切さを思いながら夏の思い出にした。



いかだ乗りを楽しむ児童

魚津市の片貝川

